

国際課活動レポート

◆アジア・オセアニア高校生フォーラム（7月24日（火）～29日（日））



和歌山県がグローバル社会で活躍する次世代のリーダーの育成を目的に開催するアジア・オセアニア高校生フォーラムも今年で4回目を迎えました。県内高校14校、県外高校5校、海外高校20校の生徒が参加し、世界共通の課題について議論するとともに、様々な交流プログラムを通じ、友情や絆を深めました。

★ “きのくに21” で特集された際の動画がご覧いただけます。

https://www.pref.wakayama.lg.jp/bcms/nettv/p_ch4/ch4_movie/01_h30endo/20180812.html

★フォーラム参加者によるゲストコラムもご参照ください。（p.3）

◆ブルネイとの青少年交流（8月5日～12日）



14名の高校生による青少年代表団がブルネイに派遣され、交流を続けるヤヤサン高校や在ブルネイ日本国大使館等を訪問しました。参加者はホームステイを通じて、イスラム圏文化に触れました。「ブルネイに滞在できたことで、イスラム圏は怖いという偏見を取り除くことができた。」「英語でコミュニケーションを取る難しさを感じたが、派遣後も継続してホストファミリーとSNSでやり取りを続けている。」など、様々な面で成長を実感し、無事帰国しました。

◆スペイン・ガリシア州の青少年代表団（9月3日～10日）

スペイン・ガリシア州の青少年代表団が9月3日～10日の日程で和歌山を訪れました。ともに世界遺産である熊野古道とスペイン・ガリシア州のサンティアゴ巡礼道は、世界でも例を見ない姉妹道提携をしており、今年は20周年を迎えました。

今回はあいにく台風に見舞われ、和歌山大学での交流や歓迎夕食会などが行えなくなるという不運もありました。しかし、3日目からは予定通り白浜、熊野古道、熊野本宮大社、熊野那智大社、那智の滝など県内各地を訪問。熊野高校空手部での体験入門、新宮高校文化祭見学、ホームステイなどを経験しました。